

令和8年4月24日14時00分

近畿地方整備局

(※公益社団法人日本河川協会 同時発表)

令和8年河川功労者表彰の受賞者が決定しました。 ～近畿地方整備局直轄管内から7名が受賞～

長年にわたり樋門操作に従事されるなどの河川功労者に対して、公益社団法人日本河川協会から表彰が行われます。今年の表彰者の総数は、全国で個人55名、33団体、合計88者で、近畿地方整備局直轄管内からは、7名が受賞されます。

●近畿地方整備局直轄管内から受賞されるのは、以下の方々です。(敬称略)

- ・西地 隆
- ・山田 憲一
- ・米田 喜彦
- ・海老瀬 潜一
- ・前畑 政善
- ・光田 重幸
- ・田中 哲夫

●表彰式

日時：令和8年6月1日(月) 16:00～

場所：砂防会館別館 シェーンバツハ・サボー

東京都千代田区平河町2-7-4 (TEL 03-3261-8386)

※当日の取材にあたっては、報道者席が用意されます。

※参考として、公益社団法人日本河川協会の発表資料を添付しております。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

河川部 河川情報管理官 お ば せ けん 小長谷 健 (内線3514)

河川部 水政課長 あ ら い ひとし 新井 仁 (内線3551)

T E L 06-6942-1141(代表) 06-6942-0137(水政課 直通)

公益社団法人 日本河川協会では、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、同協会の河川功労者表彰規程に定める事項に該当する個人及び団体について、毎年、河川功労者表彰を行っています。

表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等から推薦を行い、日本河川協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定されています。

令和8年に近畿地方整備局直轄管理管内から受賞されるのは、以下の7名の方々です。

氏名	西地 隆(にしじ たかし)
職業	農業
功績等	平成2年から長年にわたり、鮎田水門及び相野谷川排水機場の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。
表彰規程の該当条項	第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
住所	三重県南牟婁郡紀宝町

氏名	山田 憲一(やまだ けんいち)
職業	—
功績等	平成2年から長年にわたり、九頭竜川水系九頭竜川片川放水路樋門の操作員として施設の点検整備を定期的に行い、令和3年8月の秋雨前線による洪水の際は、50時間を超える操作を果たすなど、洪水災害の軽減に貢献された。
表彰規程の該当条項	第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
住所	福井県福井市

氏名	米田 喜彦(よねだ よしひこ)
職業	製竿業
功績等	平成2年から長年にわたり、南馬場樋門の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、過去の出水における正確かつ迅速な操作により、洪水災害の軽減に貢献された。
表彰規程の該当条項	第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
住所	和歌山県橋本市

氏名	海老瀬 潜一(えびせ せんいち)
職業	元 摂南大学教授
功績等	水環境分野特に酸性雨、水質汚濁等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、木津川上流河川環境研究会の委員として指導・助言いただき水質問題改善の推進に貢献された。
表彰規程の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	大阪府高槻市

氏名	前畑 政善(まえはた まさよし)
職業	元 神戸学院大学教授
功績等	魚類生態学の専門家としての顕著な研究成果や経験に基づき、平成8年から河川水辺の国勢調査アドバイザー及び「琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度」における専門家グループメンバーとして、的確な指導・助言を行い、瀬田川、野洲川、琵琶湖における河川環境保全に貢献された。
表彰規程の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	滋賀県大津市

氏名	光田 重幸(みつた しげゆき)
職業	元 同志社大学准教授
功績等	保全生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、宇治川河川保全利用委員会副委員長または委員として、川らしい自然環境を保全する観点から占用について検討を行うことで、適切な河川利用の推進に貢献された。
表彰規程の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	京都府京田辺市

氏名	田中 哲夫(たなか てつお)
職業	元 兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授
功績等	淡水魚類の生態学および河川環境保全の専門家として、猪名川自然環境委員会、淀川水系流域委員会及び猪名川部会の委員として助言を行い、淡水魚類を中心とした水生生物の保全を通じて河川環境の維持・改善に貢献された。
表彰規程の該当条項	第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
住所	兵庫県丹波篠山市

<公益社団法人 日本河川協会 河川功労者表彰規程(抜粋)>

第2条 表彰は、次の各号に掲げる事項について功績のあった個人又は団体について行う。

- (1) 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与すること。
- (2) 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献すること。
- (3) 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等。
- (4) 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動。
- (5) 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめること。
- (6) 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等による新しい文化の創造。
- (7) 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化。
- (8) その他本会の発展に顕著な貢献をする等特に表彰が必要と認められた場合。

河川功労者表彰の趣旨・制度に関するお問い合わせはこちら

公益社団法人 日本河川協会 担当:志賀、小島
TEL:03-3238-9771

令和 8 年 4 月 24 日

報道関係各位

公益社団法人 日本河川協会

令和 8 年「河川功労者」の決定および表彰式開催のご案内

公益社団法人日本河川協会（会長：甲村 謙友）は、令和 8 年河川功労者を決定いたしました。本表彰は、多年にわたり河川の整備、利用、環境保全、防災、文化活動等に顕著な功績のあった方々を称えるものです。

つきましては、令和 8 年 6 月 1 日（月）に開催する当協会「定時社員総会」において、以下の通り表彰式を執り行います。

当日は会場内に報道関係者席をご用意しております。取材を希望される場合は、お手数ですが事前に当協会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

< 表彰式 開催概要 >

- **日 時**： 令和 8 年 6 月 1 日（月） 16 時 00 分より
（※同日 14 時 40 分より開催の「定時社員総会」に引き続き執り行います）
- **会 場**： 砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4（TEL：03-3261-8386）

【添付資料】

1. 令和 8 年河川功労者表彰について…… 資料-1
2. 令和 8 年河川功労者表彰者名簿 …… 資料-2

本件の内容は、当協会ホームページでも公開しております。

URL：https://www.japanriver.or.jp/information/2026_kourousya.htm

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 日本河川協会 河川功労者表彰事務局

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-6-5 麴町 E.C.K ビル 3F

担当：志賀、小島

TEL：03-3238-9771

E-mail：kourousya@japanriver.or.jp

令和 8 年河川功労者表彰について

1. 趣旨

公益社団法人日本河川協会では、昭和 24 年より、河川に対する国民の理解を深めることを目的として、河川功労者表彰を実施しております。本表彰は、当協会の河川功労者表彰規程に定める「記」の事項に該当し、顕著な功績のあった個人および団体を対象に、毎年の定時社員総会において執り行っているものです。

2. 選考の経緯

表彰候補者は、各都道府県、国土交通省地方整備局、および河川関係団体等からの推薦に基づき、当協会の河川功労者表彰審査委員会による審査を経て、理事会において決定しております。

3. 令和 8 年の表彰者数

令和 8 年の河川功労者は、資料-2 の通り決定いたしました。

表彰者数は、**個人 55 名、33 団体、合計 88 者**です。

4. 累計表彰数

本年の表彰により、昭和 24 年の創設から令和 8 年までの累計表彰数は、4,606（個人・団体の合計）となります。

記

- 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

以上

令和8年河川功勞者表彰者名簿

公益社団法人 日本河川協会

令和 8 年河川功勞者表彰総括表

事 項	個 人	団 体	計
第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合	1		1
第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合	17		17
第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合	10		10
第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合	1	33	34
第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合	24		24
第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合	1		1
第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合			0
第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合	1		1
合 計	55	33	88

令和8年河川功労者表彰者名簿

第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合 (個人1)

氏名	職業	功績等	住所
久保田 稔	団体役員	NPO法人木曾川文化研究会代表として、重要文化財船頭平閘門の歴史的価値や治水重要な排水機場の役割の広報、また、流域上下流の小中学生による閘門通過体験の交流を支援し、木曾三川の歴史的遺産の発掘や評価等に貢献された。	三重県桑名市

第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合

(個人17)

氏名	職業	功績等	住所
池田 康則	会社役員	平成13年から長年にわたり、本明川水系中山西川 中山雨水ポンプ場の管理員として施設の管理に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかに監視業務に従事するなど、災害の軽減に貢献された。	長崎県諫早市
北島 始	農業	平成19年から長年にわたり、本明川水系本明川葎原樋管の操作員として施設の管理操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	長崎県諫早市
わた 渡 邊 俊 博	農業	昭和60年から長年にわたり、阿武隈川水系阿武隈川の鳩原排水樋管の水門等水位観測員として、定期的に施設の点検整備を行い、出水時には昼夜を問わず速やかに操作業務にあたるなど、災害の軽減に貢献された。	宮城県角田市
た 田 中 學	前大郷町長	令和元年東日本台風による被災に対し、大郷町長として、地域住民を中心とする数多くの関係者の合意形成と事業推進に尽力され、地域住民の安全・安心の確保と被災地の早期復興に貢献された。	宮城県黒川郡大郷町
葛原 芳四郎	農業	昭和60年から長年にわたり、北上川水系旧北上川の梨の木水門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	宮城県石巻市
えん 遠 藤 兵 治	無職	昭和50年から長年にわたり雄物川水系雄物川 大森排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	秋田県横手市
おお 大 野 庄 一	無職	昭和59年から長年にわたり、雄物川水系雄物川 熊の堂第二排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	秋田県雄勝郡羽後町
しな 品 川 萬 里	前郡山市長	平成25年より12年間にわたり郡山市長として、また、阿武隈川河川整備委員会等の委員として治水事業の推進に尽力し、東北初の「100mm/h安心プラン」の登録を進め、流域の安全・安心の確保に貢献された。	福島県郡山市
こ 木 幡 浩	前福島市長	平成29年から8年にわたり福島市長として、また、東北直轄河川治水期成同盟会連合会会長として、令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた阿武隈川をはじめとする、東北地方の河川改修事業の促進に貢献された。	福島県福島市
たか 高 橋 由 美	無職	平成6年から長年にわたり、荒川水系荒川 赤谷川制水門の操作員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず的確に任務を遂行し、災害の軽減に貢献された。	新潟県岩船郡関川村
は 長 谷 川 清	無職	平成11年から姫川水系唐沢排水樋管の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	新潟県糸魚川市
にし 西 地 隆	農業	平成2年から長年にわたり、鮎田水門及び相野谷川排水機場の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	三重県南牟婁郡紀宝町
やま 山 田 憲 一	無職	平成2年から長年にわたり、九頭竜川水系九頭竜川片川放水路樋門の操作員として施設の点検整備を定期的に行い、令和3年8月の秋雨前線による洪水の際は、50時間を超える操作を果たすなど、洪水災害の軽減に貢献された。	福井県福井市
よね 米 田 喜 彦	製竿業	平成2年から長年にわたり、南馬場樋門の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、過去の出水における正確かつ迅速な操作により、洪水災害の軽減に貢献された。	和歌山県橋本市

氏名	職業	功績等	住所
おく だ ひろし 奥 田 博	自 営 業	平成13年から長年にわたり、那賀川水系那賀川楠根上流樋門操作員として施設の点検整備を定期的に行い、洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。	徳島県阿南市
これ さわ つよし 是 澤 毅	会 社 員	九州全体の河川事業の推進、治水安全度向上に尽力をされた。また「ふくおかの川と水の会」理事として風土資産マップ作製に携わり、地域防災力向上と河川の魅力発信に貢献された。	福岡市博多区
おか もと さかえ 岡 本 栄	団 体 職 員	平成24年に伊賀市長就任以来、検証中であった川上ダム建設事業に係る伊賀市議会での決議を通じて地元のとりまとめに尽力されるとともに、情報発信や水源地域の振興等事業促進に貢献された。	三重県伊賀市

第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合

(個人10)

氏名	職業	功績等	住所
しば た とし お 柴 田 敏 夫	会 社 員	平成元年に田代水防団に就任以来36年の長きにわたり、団員として従事するとともに、平成4年から副団長に就任し団員の指導育成に務め地域住民の生命と財産の保護に貢献された。	岐阜県羽島郡笠松町
や じま しん いち 矢 島 真 一	自 営 業	25年の長きにわたり、水防団員として活動すると共に、平成29年4月から副団長、令和7年から団長として部下の指導育成に努め、水害から地域住民の生命・財産を守るため、被害の防止と軽減に尽力された。また、地域住民に対して啓発活動を行い、水害の恐ろしさや水防活動の重要性を伝えられた。	岐阜県岐阜市
ひ だか りょう いち 日 高 良 一	会 社 員	平成17年4月浜松市水防団芳川分団に入団以来、水防活動の第一線で活躍するとともに、平成30年4月に芳川分団長、令和4年4月浜松市水防団副団長に就任され、優れた指導力・行動力で団長をサポートし、分団員の指揮指導に貢献された。	浜松市中央区
ふる はし かつ ひこ 古 橋 克 彦	会 社 員	平成11年浜松市水防団 伊佐見分団に入団以来、水防活動の第一線で活躍するとともに、平成13年分団長に就任、平成28年4月以降も分団員として在籍し、他の分団員の指導育成に務め地域住民の生命財産の保護に貢献された。	浜松市中央区
ふる かわ やす お 古 川 康 夫	無 職	昭和46年に淀川左岸水防事務組合水防団に入団し、長年にわたり水災防御の第一線で活躍するとともに、平成30年からは分団長として、豊かな経験と卓越した指導力により団員の指導育成と水防組織の充実強化に努め、地域住民の生命と財産の安全確保に貢献された。	大阪市旭区
え なが かず ま 榮 永 和 馬	雑 貨 製 造 業	平成9年に大和川右岸水防事務組合北津守水防分団に入団以来、長年にわたり水防活動に従事し、令和2年からは分団長として、卓越した指導力を持って分団員を統率し、若年団員の育成に努める等防災教育にも貢献された。	大阪市西成区
あか ま ただし 赤 間 正	前大郷町中粕川地区行政區長	大郷町中粕川地区の行政區長として、災害時における避難及び誘導を迅速かつ円滑に行うための連絡体制や扶助体制の構築に努めてきた。令和元年東日本台風の被災時には、死者・行方不明者は無く、被災当時の体験を後世に伝承するなど、自主防災意識の向上及び地域防災体制の充実に貢献された。	宮城県黒川郡大郷町
たて いし こう いち 立 石 耕 一	無 職	平成15年から長年にわたり、四国地方防災エキスパートとして、物部川、仁淀川及び四万十川水系の関係市町における消防団員等へ水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	高知県香美市
はま ぐち しげ お 濱 口 重 夫	無 職	平成11年から長年にわたり、四国地方防災エキスパートとして、物部川、仁淀川及び四万十川水系の関係市町における消防団員等へ水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	高知県南国市
よし なり たか じ 吉 成 隆 二	会 社 員	平成21年から四国地方防災エキスパートとして、吉野川並びに那賀川水系の関係市町における消防団員等へ水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。	徳島県鳴門市

第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合

(個人1)

氏名	職業	功績等	住所
まつ お とし お 松 尾 敏 生	元高校教師	平成16年に環境省環境カウンセラーに就任後、平成18年度から県の環境教育アドバイザーとして活動しており、魚類・頭索類の専門家として生き物調査や自然観察会の指導を行うなど、河川に関する環境教育の推進に貢献された。	大分県大分市

(団体33)

名称	功績等	住所
おし かわ 忍川の自然に親しむ会	平成25年に設立以来、長年にわたり一級河川忍川において清掃活動を継続的に実施しており、河川環境の保全及び河川美化に貢献をされた。	埼玉県行田市
な せ かわ 名瀬川とあそび隊	平成13年の結成以来、名瀬川の昭和橋から阿久和川合流点までの間で清掃・除草活動および花壇の手入れを毎月行っている。また、隣接する水辺愛護会と連携してイベントを開催し地域住民が川に親しむ機会を提供しており、河川環境の保全及び美化に貢献された。	横浜市戸塚区
さむかわエコネット（寒川環境町民会議）	平成17年に設立以来、毎月ごみ拾いや草刈りを実施することで日久尻川周辺の美化に大きく貢献しただけでなく、自生する植物や生息する動物に関する調査も行った。また、一般参加者を交えた活動を行うことで、地域住民との連携を深め、環境意識を向上させるなど河川環境の保全と河川美化に貢献された。	神奈川県高座郡寒川町
見附市教育委員会・見附市立各学校	平成16年713新潟福島豪雨災害を契機として、災害時の的確な行動と非常時の生活を体験するため各学校において、学年に応じた学習を地域総がかりで行う活動、そして自然に親しむ活動等、特色ある教育活動を実施し、子どもたちの防災・減災意識の向上に貢献された。	新潟県見附市
まつ かわ 松川河川愛護会	平成21年の設立以来、長年にわたり一級河川松川において、河川周辺の清掃活動や草刈りを行い、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	長野県須坂市
しも わく なみ まち 下浦波町河川愛護会	金沢市内の二級河川涌波川流域において50年以上の長きにわたり堤防等の草刈りや清掃活動に継続して取り組んでおり、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	石川県金沢市
野口河川愛護会	平成9年の設立以来長きにわたり、伊那市を流れる棚沢川が織りなす自然豊かな原風景を守るため、地域住民の協働によって草刈り、ゴミ拾いや外来生物（アレチウリ）の除去を行う河川愛護活動を実践し河川環境の保全と河川美化に貢献された。	長野県伊那市
いり さわ く 入沢区衛生委員会	50年以上にわたり、谷川約3kmの区間を入沢区区民一丸となって、除草及び清掃活動を年3回程度行い、河川環境の保全及び河川美化に貢献された。	長野県佐久市
みやがわ なかがわ からすがわ 宮川・仲川・烏川河川愛護推進協議会	昭和46年の設立以来長年にわたり、宮川、仲川、烏川の除草や清掃活動を年に2回実施し、作業規模は約31000m、面積にして約161,000㎡に及び河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献をされた。	静岡県伊東市
は とり 羽鳥自治会	長年にわたり、久住谷川を、毎年約100～200人の流域地域住民が参加し、清掃活動を行っている。清掃活動は、河川愛護精神の普及及び河川美化・環境保全に貢献された。	静岡市葵区
ほう がわ ちょう おお ばし 芳川町大橋自治会	昭和30年の設立以来、長年にわたり二級河川芳川の堤防の草刈・清掃を継続し、堤防を人々の憩いの場や通学路として美しく保つ活動に取り組んでこられた。これらの長年にわたる献身的な活動は、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	浜松市中央区
未 来 塾	平成8年の設立以来、長年にわたり二級河川拾石川の河川敷の草刈りやゴミ拾いを継続的に実施し、春には住民から寄付を受けた鯉のぼりを河川横断させて掲揚するなど、訪れる人がより親しめるような環境づくりを行い、環境保全及び美化に貢献された。	愛知県蒲郡市
特定非営利活動法人 砂山バンマツリ	平成25年の設立以来長年にわたり、紀の川水系水軒川において、年間約600名の地域住民と連携して除草、清掃及び植樹活動等の河川愛護活動に取組み、また、年に2回「水軒川クリーン大作戦」と題した河川愛護活動を企画する等、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	和歌山県和歌山市
し こう 地区 自然 愛護 会	平成2年の設立以来長年にわたり、一級河川穴伏川において、地元住民が中心となり、河川の除草やごみ集めなどの美化活動を行っており、地域住民の河川愛護意識の向上や環境保全に貢献された。	和歌山県伊都郡かつらぎ町
雲南市立佐世小学校	平成28年度から宍道湖流入河川調査に参加し環境学習に取組み、佐世川をテーマにした河川調査の結果をまとめ、学習発表会で地域住民に対し水や川を大切にしよう発信するなど、環境保全意識の醸成に貢献された。	島根県雲南市
おお どの 大殿ホテルを守る会	平成3年の設立以来、二級河川一の坂川において、大殿小学校との協働によるゲンジボタルの保護活動や、周辺自治会や地元企業と連携した一斉清掃活動を継続的に実施し、地域住民の河川愛護意識の醸成と河川環境の美化に貢献された。	山口県山口市

名 称	功 績 等	住 所
広岡地区流域環境保全の会	平成14年度から長年にわたり二級河川宍喰川水系広岡川において、除草や清掃活動など河川環境の保全に寄与するとともに、河川の巡視や防災訓練の実施等により地域住民の防災意識向上にも貢献された。	徳島県海部郡海陽町
新居浜市立大生院小学校 <small>おおじょういん</small>	平成16年から県の愛リバー・サポーター制度に登録し、渦井川の河川敷の除草やゴミ拾いに加えて、水生生物の水質調査を行うなど、長年にわたり河川美化活動を実施し、良好な河川環境の保全や河川愛護意識の高揚に貢献された。	愛媛県新居浜市
久米川の堤防を守る会 <small>く め がわ</small>	平成22年から県の愛リバー・サポーター制度に登録し、久米川の河川敷の除草を行うなど、長年にわたり河川美化活動を実施し、良好な河川環境の保全や河川愛護意識の高揚に貢献された。	愛媛県大洲市
下高場地区県営河川を守る会 <small>しもたかば</small>	平成15年度より福岡県の河川愛護団体に登録し、除草、清掃活動等を長年にわたり継続して実施しており、また、ラジコン式草刈機を導入し、作業負担の軽減を図ることで活動の継続につなげており、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	福岡県朝倉郡筑前町
木場町自治会 <small>こ ば まち</small>	平成5年頃から二級河川西山川及び西山ダム公園の清掃・除草活動を行い、平成16年には長崎県「県民参加の地域づくり事業」河川・アダプト団体に登録して年4回河川の清掃・除草活動を行い、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	長崎県長崎市
吉田地区愛護会	平成24年度から長きにわたり、対馬市内の二級河川吉田川の草刈り、清掃を地域住民で毎年活動しており、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	長崎県対馬市
宇佐ロータリークラブ	平成20年に開催した大分国体を記念して二級河川駅館川の河川堤防敷に、地域住民や子供たちの参加により桜31本の記念植樹を実施して以来17年間にわたり、定期的な桜並木周辺の除草や清掃作業を継続実施し、良好な河川環境の保全と河川愛護意識の醸成に貢献された。	大分県宇佐市
永田西自治会 <small>なが た にし</small>	50年以上の長きにわたり、継続的に地域住民が連携しながら、万之瀬川の河川美化活動を実施している。高齢化が進む中、他団体の模範となる活動を継続され、河川環境の保全及び河川愛護意識の醸成に貢献された。	鹿児島県南九州市
諏訪自治会	50年以上の長きにわたり、継続的に地域住民が連携しながら、大谷川の河川美化活動を実施している。高齢化が進む中、他団体の模範となる活動を継続され、河川環境の保全及び河川愛護意識の醸成に貢献された。	鹿児島県南九州市
特定非営利活動法人カラカネイトトンボを守る会 ～あいあい自然ネットワーク～	湿地・湿原の生物の生息環境を守り未来へ継承するため、石狩川下流域の湿地・湿原の調査、研究、保全活動、子どもたちを中心とした環境学習や啓発活動等を長年にわたり展開するなど、グリーンインフラの取組を推進し、生態系ネットワークの形成に貢献された。	北海道札幌市
松園子ども自然観察園をきれいにする会 <small>まつぞの</small>	長年にわたって四十四田ダム湖畔の水辺環境の保全と美化活動を行い、河川環境の保全と河川美化の推進に貢献するとともに、自然観察会を開催して地域住民の河川環境への理解促進に貢献された。	岩手県盛岡市
一般社団法人霞ヶ浦市民協会	平成8年に設立以来30年の長きにわたり、「泳げる霞ヶ浦」をキャッチフレーズに地域住民や関係機関と連携し、清掃活動や苗木の植樹、環境学習など多種多様な事業を実施し、霞ヶ浦の環境保全、水質改善等に関する普及啓発に貢献された。	茨城県土浦市
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 <small>ふじまえひがた</small>	ラムサール条約に恥じない藤前干潟にする・子どもたちが安心して遊べる干潟や川を取り戻す・流域全体のごみや水のことを考えるネットワークを形成する、この3つを柱として長きに亘り清掃活動等を実施し、川や海の保全に貢献された。	愛知県清須市
公益財団法人ホンザキグリーン財団	ラムサール条約登録湿地である宍道湖において、野鳥などの自然観察会や児童・生徒を対象とした清掃活動を通じた体験活動「ラムサール探偵団」などの取り組みを長年にわたり実施し、斐伊川水系斐伊川（宍道湖）の自然保護および河川愛護活動に貢献された。	島根県出雲市
阿南市立大野小学校	平成25年度から長年にわたり、那賀川の環境・自然をテーマにした学習に取り組み、アユの産卵場整備と産卵の一連の流れを学習するなど、河川環境保全や児童の河川愛護に対する意識の高揚に貢献された。	徳島県阿南市
特定非営利活動法人 拓生会 <small>たくせいかい</small>	一級河川本明川の諫早市干陸地を活動拠点に、コスモスの植栽を始めとするフラワーゾーン維持管理や清掃活動、小学校6年生の卒業記念を兼ねた桜ツツジの植樹等を継続して実施し、河川環境保全や地域振興に貢献された。	長崎県諫早市
新城ライオンズクラブ <small>しん しろ</small>	平成13年に豊川用水の水源地である朝霧湖（大島ダム）が完成したことに伴い、翌年ダム湖周辺に環境活動の一環として桜の木の植樹を行い、その後、定期的に育樹作業を行うとともに朝霧湖周辺の清掃活動を毎年実施しており、河川環境の保全及び河川美化の推進に貢献された。	愛知県新城市

第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人24)

氏名	職業	功績等	住所
妹尾 優二	会社役員	長年にわたり北海道内の一級河川における自然生態系の保全・回復に尽力し、数多くの委員会に所属し、流域全体の生態系の保全・再生に資する多自然川づくりや河道管理、自然再生等の取組について専門的見地から様々な提言を行い、多大な貢献をされた。	北海道江別市
加藤 徹	宮城大学 名誉教授	農業水利学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、長年、阿武隈川水系河川整備委員会副委員長等を務め、河川整備計画の策定や変更に尽力されるなど、各水系の河川整備の推進に貢献された。	仙台市太白区
すぎ杉 山秀樹	団体役員	魚類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、秋田県内直轄河川の河川整備学識者懇談会、成瀬ダムモニタリング委員会、鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会等の各種委員を務められ、河川・ダム整備の推進に貢献された。	秋田県秋田市
さ佐 原雄二	弘前大学 名誉教授	魚類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、河川水辺の国勢調査アドバイザー、高瀬川河川整備委員会、岩木川河川整備委員会、馬淵川水系河川整備学識者懇談会等の委員を務められ、河川整備の推進及び河川環境の保全に貢献された。	青森県弘前市
み三 沢真一	新潟大学 名誉教授	農業工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、長年にわたり荒川水系流域委員会委員を務め、荒川水系河川整備計画策定時からその後の点検及び事業再評価に至るまで、豊富な知識と経験に基づき的確な助言を行い、河川整備の推進に貢献された。	新潟県見附市
もり森 井俊広	新潟大学 名誉教授	水利施設工学の専門家として顕著な研究成果をあげるとともに、姫川河川整備計画有識者会議、関川・保倉川治水対策検討部会、姫川水系流域委員会の委員を務め、姫川・関川における河川整備の推進に貢献された。	新潟市西区
かね金 安健一	団体役員	平成13年から生物に関する専門家として信濃川流域で「河川水辺の国勢調査」アドバイザーや大河津分水路環境調査検討委員会委員等の委員を務め、専門的知見から助言を行い、20年以上にわたり河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	新潟県長岡市
くす楠 井隆史	富山県立大学 名誉教授	水処理工学や環境毒性学の専門家として、黒部川ダム排砂評価委員会委員長代行等を務め、出平ダムと宇奈月ダムが行う連携排砂について学識的な知見により助言を行い、社会基盤施設の持続的な機能維持と海及び河川の環境保全に貢献された。	富山県射水市
せり芹 澤俊介	愛知教育大学 名誉教授	植物の専門家として平成19年から庄内川の河川水辺の国勢調査アドバイザーを努めるとともに、土岐川庄内川流域委員会の自然環境ワーキンググループのメンバーも努め、庄内川の河川環境の整備と保全の推進に貢献された。	愛知県海部郡大治町
すず鈴 木輝明	名城大学大学院 総合学術研究科 特任教授	水産海洋学の研究者として顕著な研究成果をあげられるとともに、長きにわたり豊川流域自然再生検討会の委員や矢作川流域圏懇談会の学識構成員を務め、豊川河口部の自然再生事業の計画策定からモニタリングに至るまでの技術的な指導や矢作川流域圏の環境保全・再生に向けた提言を行うなど、河川整備の推進に貢献された。	名古屋市中村区
つち土 田勝義	信州大学 名誉教授	植物・地域生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、平成5年度から天竜川上流の河川水辺の国勢調査アドバイザーを務め、植物に関する助言を継続するとともに、河原固有植物の保全・再生を図るための自然再生計画策定や河原固有植物の保全活動に参画し、河川環境の保全に貢献された。	長野県松本市
え海 老瀬潜一	元摂南大学 教授	水環境分野特に酸性雨、水質汚濁等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、木津川上流河川環境研究会の委員として指導・助言いただき水質問題改善の推進に貢献された。	大阪府高槻市
まえ前 畑政善	元神戸学院大学 人文学部教授	魚類生態学の専門家としての顕著な研究成果や経験に基づき、平成8年から河川水辺の国勢調査アドバイザー及び「琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度」における専門家グループメンバーとして、的確な指導・助言を行い、瀬田川、野洲川、琵琶湖における河川環境保全に貢献された。	滋賀県大津市
みつ光 田しげ重幸	元同志社大学 准教授	保全生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、宇治川河川保全利用委員会副委員長または委員として、川らしい自然環境を保全する観点から占用について検討を行うことで、適切な河川利用の推進に貢献された。	京都府京田辺市
た田 中哲夫	元兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	淡水魚類の生態学および河川環境保全の専門家として、猪名川自然環境委員会、淀川水系流域委員会及び猪名川部会の委員として助言を行い、淡水魚類を中心とした水生生物の保全を通じて河川環境の維持・改善に貢献された。	兵庫県丹波篠山市
まえ前 野詩朗	岡山大学 名誉教授	河川工学の専門家として、吉井川、旭川、高梁川水系の「河川整備計画」の策定・変更、平成30年7月豪雨における小田川の堤防決壊要因の分析と対策方法検討など、専門的な視点から助言を行い、河川の整備、環境の保全・創出等に貢献された。	岡山市北区
まつ松 尾裕治	会社員	防災風土資源や災害伝承、ローテク防災術の調査研究を進め、人材育成に携わるとともに、講演会等の広報活動を通じて「自分事化」の取組等、流域治水の推進にも寄与しており、四国における災害伝承と防災教育を通じた河川行政の推進に貢献された。	香川県高松市
おお大 本照憲	熊本大学 名誉教授	河川工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、白川・緑川学識者懇談会、菊池川学識者懇談会、球磨川水系学識者懇談会、九州河川技術懇談会等、多数の委員会に委員を歴任され、白川・緑川をはじめ九州地方の河川整備の促進に貢献された。	熊本市中央区
ただ 田あきひで秀	長崎大学 特定期定教授	水工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、本明川学識者懇談会の委員(座長)の他に九州地方整備局事業評価監視委員会の委員、長崎県内二級水系河川整備計画検討委員会の委員長など、多数の委員会に委員を歴任され、本明川をはじめ九州地方の河川整備の推進に貢献された。	長崎県西彼杵郡長与町

氏名	職業	功績等	住所
さめ じま まさ みち 鮫 島 正 道	元 鹿児島大学 農学部 客員教授	両生類・爬虫類・哺乳類・鳥類調査の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、川内川学識者懇談会、河川水辺の国勢調査のアドバイザー等、多数の委員会で委員を歴任され、川内川をはじめ九州地方の河川整備の推進に貢献された。	鹿児島県南九州市
かな ざわ みどり 金 沢 緑	元関西福祉大学大学院 教育学研究科教授	理科教育の専門家として、河川管理者や教育関係機関等と連携し河川教育に取り組む学校を全国的に広げることにより、治水や水資源開発、生態系など河川に関する数多くの事項の啓発と社会における河川に対する理解促進に貢献された。	広島県広島市
かど や しげ き 角 屋 重 樹	広 島 大 学 名 誉 教 授	理科教育、教科教育学の専門家として、「河川や水」について学ぶことの教育的価値と意義の探求を継続し、河川教育の確立に尽力されるとともに、河川教育の展開を通じて、国民の河川に対する理解の向上に貢献された。	神奈川県相模原市
みち おく こう じ 道 奥 康 治	法政大学名誉フェロー 神戸大学名誉教授	水工学の専門家として顕著な研究成果をあげるとともに、土木学会水工学委員会委員長、揖保川流域委員会委員、兵庫県河川審議会会長等を務め、河川工学の発展、河川整備の推進、河川技術と学術の連携に貢献された。	神戸市北区
た なか ひろ あき 田 中 宏 明	京都大学名誉教授 信州大学特任教授	河川、湖沼、ダム貯水池等の水質・環境質の監視、制御、保全等の研究に顕著な成果をあげ、かつ社会資本整備に関わる国等の委員会委員等を務めるとともに、数多くの有能な人材を育成し、産・官・学に供給することで河川事業の推進に貢献された。	茨城県つくば市

第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
(個人1)

氏名	職業	功績等	住所
きくら い こう いち 櫻 井 広 行	会 社 役 員	(株)かわまちてらす閣上の代表取締役として、名取市閣上地区において、堤防側帯等に商業施設をオープンし、都市・地域再生等利活用区域内で様々なイベントの開催や日々の河川管理を行うなど、地域の復興とともに名取川の河川空間を活用した賑わいの創出に貢献された。	宮城県名取市

第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合
(個人1)

氏名	職業	功績等	住所
(故) た しろ たみ はる 田代民治	鹿島建設株式会社 顧問	平成24年5月に日本河川協会の理事に就任されて以来、令和7年4月までの長年にわたり協会の運営・発展に貢献された。	千葉県松戸市

令和8年4月時点